

出穂期における斑点米カメムシ類の発生状況は以下のとおりです。  
巡回調査（69 地点）は 7 月 24 日～ 8 月 17 日に実施。

### ○ 斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ)

- ・巡回調査の結果、出穂期の水田内におけるアカスジカスミカメ成虫のすくいとり虫数は 3.5 頭で平年(6.0 頭)よりやや少なく、発生地点率は 43.5%で平年(43.5%)並でした(図1)。
- ・主要種のアカスジカスミカメに次いで、アカヒゲホソドリカスミカメ、フタトゲムギカスミカメの発生地点率が高い状況でした。なお、県南の4地点でクモヘリカメムシの発生が確認されました(表1)。

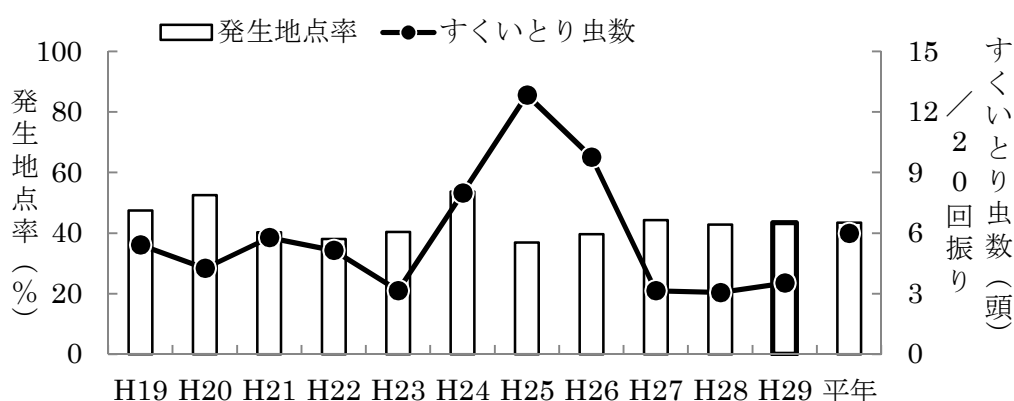


図1 出穂期における水田内のアカスジカスミカメ成虫の発生地点率とすくいとり虫数の推移  
調査方法: 本田 20 回すくいとり調査, 平年: 過去 10 年平均

表 1 水田における斑点米カメムシ類の加害種 (出穂期)

		カスミカメシ類					ホリハリ カメムシ	オトゲ シラホ カメムシ	クモヘリ カメムシ	その他 カメムシ類	合計
		アカスジ カスミカメ	アカヒゲホソ ドリカスミカメ	フタトゲムギ カスミカメ	その他	幼虫					
すくいとり 虫数 (頭)	H29	3.5	0.2	0.1	0	0.3	0.09	0	0.25	0	4.6
	平年値	6.0	0.6	0.2	0.0	1.8	0.05	0	0.09	0.0	8.8
発生地点率 (%)	H29	43.5	14.5	10.1	0	10.1	7.2	0	5.8	0	58.0
	平年値	43.5	23.4	13.2	1.2	15.1	3.3	0	1.4	2.3	57.6